2024.06.16【埼玉新聞】
県学校総体陸上競技

県高校総体
陸上

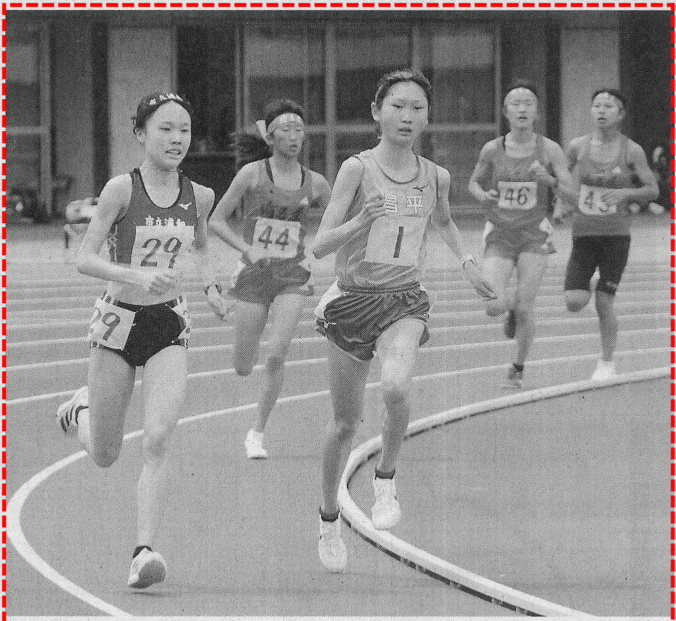
女子3000
成瀬（昌平）初V 2冠に輝く
男子3000障害 西沢（花咲徳栄）初の頂点

（最終日、15日・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場）

男女計11種目の決勝などを行い、女子3000㍍は成瀬結菜（昌平）が9分32秒12で初優勝し、4分29秒81で制した同1500㍍との2冠に輝いた。

男子3000㍍障害は西沢匡哉（花咲徳栄）が9分19秒63で初の頂点に立った。女子砲丸投げは西武台勢が表彰台を独占。米川佳里奈が12㍍62で初の栄冠に輝き、12㍍07の益井莉桜が2位、11㍍73の川上風花が3位だった。

各種目とも上位6位（競歩は5位、混成と女子の棒高跳び、三段跳び、ハンマー投げは4位）までが北関東大会（6月14～17日・東京）に出場する。


女子3000㍍決勝　9分32秒12で初優勝した昌平の成瀬結菜（1）（佐藤克哉撮影）

【男子】

▽110㍍障害　①堀井永遠（昌平）14秒37②稲増（昌平）14秒53③伊藤（春日部共栄）14秒72④遠山（松山）14秒80⑤岸波（西武文理）14秒82⑥平川（埼玉栄）14秒87＝以上追い風参考

▽3000㍍障害　①西沢匡哉（花咲徳栄）9分19秒63②白井（東農大三）9分25秒47③斎藤（春日部）9分26秒69④湯川（浦和実）9分28秒16⑤五十嵐（花咲徳栄）9分32秒69⑥中山（松山）9分43秒75

▽1600㍍リレー　①伊奈学園（三戸谷、若林、青木、中山）3分18秒11②立教新座3分18秒97③早大本庄3分19秒00④豊岡3分19秒44⑤昌平3分19秒51⑥東農大三3分19秒70

▽三段跳び　①木戸瑛大（越谷南）14㍍71②池田（大宮北）14㍍12③百瀬（草加）13㍍82④原口（聖望学園）13㍍79⑤川端（上尾）13㍍72⑥宮崎（伊奈学園）13㍍68

▽砲丸投げ　①石井敏斗（西武台）15㍍13②庄子（西武台）14㍍17③本橋（松山）13㍍64④板山（西武台）13㍍32⑤坂本（秩父農工科）11㍍79⑥三宅（浦和）11㍍73

▽学校対抗得点　①埼玉栄65・25②早大本庄51③川口市立46④松山42⑤伊奈学園41⑥立教新座37

【女子】

▽3000㍍　①成瀬結菜（昌平）9分32秒12②岡田（市浦和）9分34秒00③福山（埼玉栄）9分42秒69④長浜（埼玉栄）9分48秒33⑤久保田（埼玉栄）9分48秒42⑥野崎（昌平）9分57秒65

▽100㍍障害　①清水望生（昌平）13秒75②香取（花咲徳栄）13秒85③須田（昌平）14秒49④河野（国際学院）14秒56⑤大室（昌平）14秒77⑥和田（伊奈学園）15秒03＝以上追い風参考

▽1600㍍リレー　①伊奈学園（岩楯、高橋、岩井、春木）3分49秒67②市浦和3分52秒44③花咲徳栄3分52秒69④昌平3分53秒34⑤国際学院3分55秒04⑥埼玉栄3分56秒08

▽三段跳び　①佐野奏歩（埼玉栄）11㍍79②及川（松山女）11㍍50③芹沢（松山女）11㍍39④北浜（浦和南）11㍍15＝追い風参考⑤関川（国際学院）11㍍11⑥畑仲（松山女）11㍍00

▽砲丸投げ　①米川佳里奈（西武台）12㍍62②益井（西武台）12㍍07③川上（西武台）11㍍73④桜井（川口市立）11㍍02⑤尾崎（秋草学園）10㍍81⑥萩原（熊谷西）10㍍19

▽七種競技　①古河原愛美（国際学院）4224点（100㍍障害16秒80、走り高跳び1㍍49、砲丸投げ9㍍13、200㍍26秒93、走り幅跳び4㍍99、やり投げ35㍍85、800㍍2分32秒73）②佐藤（昌平）4154点③大久保（鷲宮）3913点④大内（浦和一女）3905点⑤山形（国際学院）3873点⑥中嶋（埼玉栄）3765点

▽学校対抗得点　①埼玉栄96・5②昌平85③伊奈学園74④西武台53⑤国際学院50⑥花咲徳栄40

父の支えで苦難克服

女子3000㍍は昌平の成瀬が9分32秒12で初優勝。同1500㍍との2冠を獲得した。「絶対に二つ取ると思って臨んだ。苦しんだシーズンをようやく抜け出せた」と笑顔がはじけた。

序盤から5人で形成した先頭集団が後続を引き離した。「いかに力をためられるかだけを考えた」と4番手で前を走る埼玉栄の3人を徹底マーク。残り1周で先頭に立つと、ロングスパートでそのまま押し切った。

昨年6月の北関東大会で思うような走りができず、長い間イップスに陥った。「スタート地点にあるのは強い恐怖心。怖くて仕方がなかった」とレース直前に体が硬直した。そこからの10カ月は記録はおろか走り切るのがやっとだった。

克服のきっかけは尊敬する父の支えだった。自主練習では常に隣を走ってくれた。「結果は気にせずに楽しみながら走りなさい」という言葉で重圧から解放されたという。レース後は「やったぞ」とスタンドで見守っていた両親に向けて笑顔で親指を立てた。「もっと練習して、先頭を走る姿で両親を喜ばせたい」と結果で恩返しする。

（佐藤克哉）

無我夢中 会心の走り

男子3000㍍障害は花咲徳栄の西沢が9分19秒63の自己新で初優勝。「当たって砕けろ。余計なことは考えずに無我夢中で走った」と昨年9月の県高校新人大会で記録したタイムを約17秒上回る会心の走りだった。

実力者がそろったレースを3番手で追走。リズムよく走ったが、「早く前に出ないと落ちるだけ」と中盤手前で先頭に立った。新人大会で転倒した水濠（すいごう）にも落ち着いて対応し、最後は後続に25秒以上の差をつけた。

他を寄せつけない走りで手応えをつかんだ。「単独走で記録が出たのはよかった。8分台でインターハイに出られる順位を目指す」と北関東大会での活躍を誓った。

男子3000㍍障害決勝　9分19秒63で初制覇した花咲徳栄の西沢匡哉（2）

米川が初優勝
女子砲丸投げ 西武台勢、表彰台独占

女子砲丸投げは西武台勢が表彰台を独占した。初優勝の米川は1投目で12㍍62を記録。自己ベストの12㍍72にはわずかに届かず「優勝はしたが、ふがいない試合。反省して北関東で必ず2連覇したい」と悔しさをにじませた。

円盤投げを制し2冠を目指した益井は2位。「この競技では中学から絶対に勝てない相手。いつも刺激をくれる存在」と米川をたたえた。3位の川上は「まとまって上位に入り、強い西武台を見せたい」と北関東大会で今回の再現を描いていた。

女子砲丸投げ決勝　（左から）優勝した米川佳里奈、2位の益井莉桜、3位の川上風花

焦らずに走れた

男子110㍍障害で2連覇の堀井永遠（昌平）

自己ベストが出て優勝できたのでよかった。前に出られる展開だったが焦らずに自分のペースで走れて後半に巻き返せた。インターハイに出るために残りの期間で質の高い練習を続けたい。

最後はプライド

女子100㍍障害で2連覇の清水望生（昌平）

1年生に負けられないと最後はプライドで優勝した。大会記録を狙っていたので、まだ2年間の積み重ねは出せていない。次の北関東ではインターハイ入賞ラインまでタイムを伸ばしたい。